

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
数学課題探究 β	3	3		数研出版 Study-Up ノート数学 I + A
到達目標				
数学 I、数学 A の各分野について、発展的な知識の習得を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、活用する態度を育てる。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	数学的な考え方に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b 数学的な見方と考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c 数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d 知識・理解	数学における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、身に付けている。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	20	第9章 整数の性質の応用 1節 約数と倍数 2節 ユークリッドの互除法 と不定方程式 発展 合同式	○			○	10	15	第4章 図形と計量の応用 1節 三角比 2節 三角形への拡張 発展 ヘロンの公式	○			○
5		3節 整数の性質と活用 発展 合同式		○			11	10	第5章 データの分析の応用 1節 整理と分析 2節 相関 発展 シグマについて	○	○	○	○
6	10	第1章 数と式の応用 1節 展開・因数分解 2節 実数 3節 1次不定方程式 発展 絶対値	○		○	○	5		第6章 場合の数の応用 1節 集合と場合の数		○		
7	10	第2章 集合と命題の応用 1節 集合 2節 命題と論証 発展 証明	○		○	○	12	15	第7章 確率の応用 1節 確率と基本性質 2節 いろいろな確率 発展 期待値	○	○	○	○
8				○			1	10	第8章 図形の性質の応用 1節 三角形と比 2節 円の性質 3節 作図	○	○		○
9	10	第3章 2次関数の応用 1節 グラフ 2節 2次方程式・不等式 発展 存在範囲	○			○	2			○			
							3						
							計 105						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

数学 A の整数の性質の範囲を学習した後に、数学 I および数学 A の授業で学んだことを前提にして、より身近な題材から数学的な見方や考え方を問う問題を多く扱う科目です。授業形態は問題をひとりで解くだけではなく、ペアワークやグループワークなどを含めて行います。また、レポートを課す場合もあります。1 年の際に購入した数学 I および数学 A の教科書を参考にしながら、答えを導き出せるように学習を深めていってください。